（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスMARBLE

公表日　令和8年　4月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2			訪問環境により使用できる教材に制限があるため、柔軟な教材準備が今後の課題であると考えています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			現在の利用者数に対して職員配置は概ね適切で、個別支援にも対応できている状況です。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			業務改善に向けたPDCAサイクルについては、会議や日々の記録を通じて職員が参画しております。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			保護者向け評価を実施し、意向を把握する機会は設けております。得られた意見に関しては、職員間で共有し業務改善に努めております。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		訪問支援スタッフ以外の職員にも、情報共有を行っている。	定期的な会議や日々の情報共有を通じて従業者の意見を把握する機会を設けております。職員一人一人が、積極的に意見を出しやすい環境づくりも行っております。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		現時点では第三者評価による外部評価は実施していませんが、今後必要に応じて導入を検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			職員の資質向上を図るため、内部・外部研修への参加の機会を確保しております。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			訪問環境や家庭状況に応じてアセスメントを実施しております。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			事業所の職員全員が出来事や学校での情報を把握できるよう情報共有を必ず行い、個に合った最適な支援方法を取り入れています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2			利用者の様子を授業後などに話し、課題(ニーズ)と考えられる事柄に関しては計画書に取り入れ、学校側が支援しやすいような内容にしております。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			計画書は職員間で共有されており、計画に沿った支援も行われています。今後も、定期的な確認を行い、計画の精度向上に努めて参ります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			ツールと観察で確認を行い、支援に活かしております。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			ガイドラインに沿った具体的な支援内容が設定され、計画に反映されております。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			計画は諸君間で共有されており、計画に沿った支援が行われいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			訪問支援職員間で前日に打ち合わせを行い、支援内容と役割を連携しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	2			支援後には必ず振り返りを行い、職員間で共有しております。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2			訪問先の理念や手法を尊重した上で支援を行い、計画に沿って実施しております。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			記録はその日に行うよう徹底しており、支援の検証や改善に活かしています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		対象児童の状況に応じて、モニタリングの期間を調整しながら対応している。	意向確認やモニタリングを行い、支援計画の見直しに適切に反映しております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			利用者の状況をよく理解した職員が会議にに参加し、情報共有や意見交換が適切に行われております。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		小学校に入学するタイミングで、保育・教育機関と引継ぎを行い、連携して支援を行う環境を整えている。	関係機関と連携した支援体制が整備され、情報共有や役割分担が適切に行われております。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			対象児童が既に就学している場合には、移行支援には携わることができませんでしたが、現在、就学前の児童に関しては園と関係機関で引継ぎを行いながら、情報共有しております。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1		助言や研修は行われておりますが、内容の共有や実務への活用が不十分な場合があるため、職員の専門性向上や業務改善に反映できるよう努めて参ります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2		会議への参加が十分でなく、地域連携や情報共有の機械が限られている状況です。今後、年間スケジュールに基づき、職員の参加予定を事前に調整していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			日常的に保護者と情報を伝え合い、発達状況や共通理解を整理し、支援計画に活かしております。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1		家族支援は行っていますが、参加機会や内容の周知が十分でない場合もあります。今後は、家族向けの研修やプログラムを年間計画に組み込み、参加しやすい環境を作って参ります。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			契約時に説明を行っております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			訪問先に事業の趣旨や支援内容を分かりやすく説明し、理解度の確認も行っております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	2		必要に応じて、報告以外にも電話等にて都度、家族・本人の意向を確認している。	計画書を作成する際には、必ずアセスメントを行い、利用者やその家族にとって最適な支援の改善や修正などが行えるような体制を整えております。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			特に重要な点に関しては細かな支援内容を提示した上で説明を行っております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		都度、電話やオンラインツールを用いて相談援助等を行っている。	訪問支援の目的以外でも、送迎時や場を設けての家族支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2		今後は、交流を目的とした事業所内でのオープンカフェ等を開催し、普段接することの少ない保護者同士の交流の場を設けて参ります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			体制を整備し、利用者や保護者に周知した上で、申し入れや相談に対応しております。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		連絡帳を活用している。	日頃の活動の様子をデイロボに写真を添付して伝えております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			個人情報は記録、保管、共有の際に適切に管理されており、閲覧制限も整備されております。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			利用者や保護者の状況に応じて、理解しやすい方法で情報提供や説明を行っております。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		授業後のフィードバックを行っている。	相談支援の体制はしっかりと整っており、記録の共有も実施できています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			実施後のカンファレンスを行うことで、次回の支援に活かしております。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			電話やSNSツール、送迎時に家族へ共有し、今後の支援や対応に活かしております。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			個人情報は記録、保管、共有の際に適切に管理されており、閲覧制限も整備されております。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			都度の相談には迅速に対応し、具体的な助言を行っております。また、訪問先との信頼関係を築くためにも、記録や共有も適切に行っております。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			内部だけでなく外部からの講師を招き、様々な訓練えお計画しております。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			安全計画や研修・訓練を実施し、安全管理のもと支援を行っております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			改善報告書と共に職員会議で提出し、より良い環境を提供できるようにしております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			定期的な虐待防止委員会を開催し、適切な支援を心がけるよう意識を高めております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			契約時に十分な説明を踏まえた上で、保護者の方からの同意を頂いております。